

JAからのおたより

私たちはTPPに
日本が参加することに断固反対します



ごとう

GOTO AGRICULTURAL CO-OPERATIVES

第10回
全国和牛能力共進会
長崎県大会

2012年
10月25日(木) ▶ 29日(日)



6月号

JA ごとう
2012 No.76



ごはんぢゃワン©

TOP
NEWS!!

- ・ごとう農業協同組合
平成23年度 事業報告
- ・平成24年度
地区別総代説明会 Q & A

CONTENTS 目次



- 2p
 - ・ CONTENTS
 - ・ 表紙 PHOTO 紹介
 - ・ 経済部太陽光パネル販売のご案内
- 3p 太陽と緑 五島がうまいの立役者
- 4p TOP NEWS
 - ごとう農業協同組合 平成23年度事業報告—
 - 平成24年度地区別総代説明会 Q & A—
- 6p 今月のスポット
- 8p
 - ・ 青年部の活動
 - ・ 食のはなし
- 9p ごとう農業協同組合
 - 平成24年度 第1回理事会報告
- 10p 産直市場五島がうまい直送便
- 11p
 - ・ 五島の養豚界に新しい風
 - ・ 新任 L A 紹介
- 12p
 - ・ 旅行センターからのお知らせ
 - ・ 補聴器相談会実施中！
 - ・ 産直市場 **五島がうまい**・
 - ・ (株) J A ごとう葬祭斎場 浄倫会館
 - ・ 編集後記



上段左から順に

- ・ 茶摘み（4月18日）
- ・ 茶揉み（5月5日）
- ・ 青年部通常総会（4月27日）
- ・ 平成24年5月せり市
- ・ 大麦収穫（5月28日）
- ・ 有川朝市（5月7日）

JAにおまかせください！

わが家から地球のためにできること。
電気は屋根の上でつくります。

シャープ
太陽光発電システム
取り扱い始めました！

CO₂と光熱費が減らせて
環境と家計どちらにも
うれしい！

- 1 電力会社との連携でムダのないシステム
余った電力は売ることができます
- 2 太陽光発電がおすす
光熱費を大幅カット
- 3 石炭や石炭を燃やさない、CO₂を出さない
家族みんなで環境保護に貢献

**平成24年度の設置の補助金、余剰
電力買取価格が見直されました！**

国が補助金を支給

太陽電池モジュール公称最大出力
1kWあたり 3万5千円

*さらに市町村によって、
補助金の対象となる場合
があります。
1kW当たりのシステム価格が475千円以下のもの
1kW当たりのシステム価格が550千円以下のもの

余剰電力の売電

余った電力は電力会社に売
ることができます。
**余剰電力
(住宅用の場合)1kWあたり 42円**

10年間の固定買取
*非住宅用は40円、W発電は34円

ご案内致しますのは...

JAごとう本店

長崎県五島市籠淵町2450-1

TEL 0959-72-6585

太陽と緑

五島がうまい の 立役者

NO 25

減農薬栽培

への挑戦

南松浦郡新上五島町小串郷
山下 やました
則夫 のりお さん(76)



風土に合った栽培

山下さんの畑は段々になっており
その中でも赤土の部分と黒土の部分
があり、その土質に合わせて作るも
のを決めています。そのため、ホウ
レン草や水菜、人参、馬鈴薯などさ
まざまな野菜を約一〇[㍻]の土地で
作っています。

山下さんは現在、大根などを主に
栽培しています。

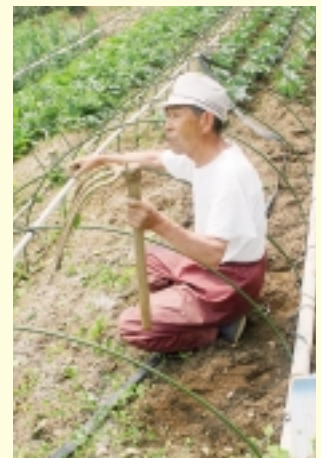
海から陸へ

山下さんが農業を始めたのは十年
ほど前のこと。それまでは巻き網漁
船に乗る豪快な海の男でした。奥さ
んが体調を崩されてからは、主に山
下さんが畑の管理をされています。



消費者に愛される作物を

中でも大根は消費者の方々の評判
も良く、一番自信のある作物である
とのことでした。



「百姓は天候などとの駆け引きだ
から難しいよ」と言いながらも、やっ
ぱり、良い品質のものができたり、
皆さんからおいしいと言ってもらえ
ることが嬉しい」と山下さん。新上
五島町では毎年イノシシによる被害
などが多発し、農家を廃業される方
が多いなか、機械が入らない場所を
手作業で精力的に耕していました。
現在山下さんの栽培した野菜は、
給食センターやメルカピイ青方、A
コープ有川店などに出荷されていま
す。

究極の減農薬野菜を目指して

昨年十二月に農薬管理指導士に認
定された山下さんの野菜作りには極

力農薬を使用せず、おいしい野菜を
作るという素晴らしいテーマがあり
ます。

「無農薬で栽培できれば一番いい
が、無農薬の野菜は虫食いの跡が
あったりして、無農薬の方が絶対に
良いと分かっている消費者も、見た
目の良さから自然と農薬を使った商
品に手を伸ばしている。全く使わな
いのも難しいので、最低限の農薬で
おいしい野菜ができるように、毎日
が勉強です」と語っていました。

過去には収穫目前のメロンがウィ
ルスによって全滅したという話もあ
りましたが、減農薬栽培によって安
心・安全な野菜をこれからも栽培し
ていきたいという意欲に満ち溢れて
いました。



ごとう農業協同組合 平成23年度事業報告



1. 五島農業と主要事業の概況

国内経済は東日本大震災によって深刻な打撃を受け、平成23年度は厳しい状況からのスタートとなりました。管内では、子牛価格が好調であったことや、台風等自然災害が少なかったこともあり、五島農業にとってはまずまずの年でした。

ちなみに、相変わらずのデフレ状況下で農産物価格が低迷する中でも、畜産・畑作の振興と値決め契約による販売に力を入れたことや、昨年4月にオープンさせた、ファーマーズ・マーケット「産直市場 五島がうまい」が計画通りに運営できたことから、今年度の農産物販売高は継続して伸びを示し過去最高の39億4千万円となりました。

A 農産園芸部門

- ・主要品目（高菜、ブロッコリー、大麦）の面積拡大
- ・貯蔵用抑制力ボチャ並びにスナップエンドウの栽培・生産量の拡大
- ・ファーマーズ・マーケット「産直市場 五島がうまい」への出荷用品目の栽培推進

など

C 販売事業

- ・畜産部門販売高は1,992百万円、農産園芸部門販売高は1,946百万円、両部門合計3,938百万円の計画対比103.4%、前年度実績対比109.8%と過去最高の販売高
- ・ファーマーズ・マーケット「産直市場 五島がうまい」並びに上五島地区への直売事業の拡大

など

B 畜産部門

- ・繁殖雌牛の増頭や優良子牛の生産を目指し肉用牛生産振興研修会を開催し、1戸1頭増頭運動を展開（補助事業活用により3戸の新規参入農家も誕生）
- ・家畜伝染病・口蹄疫の発生に伴う防疫対策の実施（港や空港での防疫対策や各農家へ消毒薬を無料配布するなど）
- ・子牛せり市の高値での取引（購買者誘致を積極的に実施）
- ・子牛共同育成施設での市場性の高い優良子牛の出荷並びに、肥育施設における消費者ニーズに対応した経営の健全化
- ・飼養管理技術向上に向けた研修会の開催と巡回指導の実施（養豚については種豚の更新や蔓延疾病予防による生産コストの低減）

など

D 購買事業

- ・購買合計については5,224百万円（95.4%）だったが、生産資材については、販売高の伸びとあいまって、計画1,455百万円に対し100.5%の1,463百万円を達成

など

E 信用事業

- ・貯金の期末残高目標の57,000百万円に対し56,217百万円（98.6%）の実績（前年度対比100.2%）
- ・引当金の法的回収及び任意売却、償却処分等による改善

など

F 共済事業

- ・「ひと・いえ・くるま」の総合保障確立（前年対比100.6%、計画対比90.7%）
- ・東日本大震災を教訓とした建物更生共済の推進強化

など

2. 総合収支実績

主要事業の取扱量については管内市場規模の縮小や経済情勢等により一部を除き未達に終わりましたが、事業管理費の抑制等の合理化・効率化に努めた結果、事業利益で計画対比77百万円増の151百万円となりました。これにより事業管理費率については93.56%に抑えることができました。

このように、最終的には当期剰余金の計画42百万円を上回る80百万円を計上することができました。しかしながら、年々事業利益や当期剰余金の額も減少しており、今後の管内経済の動向を考えると、更なる経営基盤強化が必要となります。剰余金処分については行政指導により固定比率の改善が強く求められていることから目的積立金の積増し等、付加資本の増強に充てさせていただきたくご提案させていただきます。厳しい経済情勢の中、このような決算をすることができたのもひとえに、ご利用いただいた組合員皆様のお陰であり、前年度同様の1%の出資配当でご提案させていただきます。



(福江支店)

地区別総代 説明会



(三井楽支店)

5月15日から22日(土日を除く)にかけて、各支店・出張所にて開催しました地区別総代説明会の主な質疑・回答についてご報告いたします。

Q1 遊休資産の処分はどのように取り組んでいるのか？

A1 今後努力します。

Q2 増頭運動について、現在何頭になっているのか？

A2 現在は4,250頭弱です。18年度に3,800頭で増頭運動をスタートさせ、ピーク時には4,300頭までいきましたが、多頭飼育農家が多いことから、1戸2戸でも廃業すると一度に減少してしまう状況です。市場への出荷頭数は、18年度の2,800頭から3,100頭と増えています。

Q3 農援隊に代わる制度ができるようだが、認定農業者でなくても利用は可能か？

A3 今までの農援隊は補助事業のため認定農業者しか利用できないという制約がありました。今年から始まるものはヘルパー制度を構築しようというものです。8月をめどにスタートさせたいので、支援者の登録・雇用希望者の登録・料金(賃金)等についてもアンケートを実施する予定です。

Q4 TPPについてJ Aとしてはどのように対応しているのか？

A4 TPP交渉断固阻止大会への参加や地元選出の国会議員への要請などを行っています。

Q5 事業は将来の明るい見通しもないような状況で、計画としては従来通りのようだが、それで良いのか？

A5 新中期経営計画(22~24年度)の最終年度ということで、従来の取り組みを継続した形になっていますが、24年度中に次の中長期経営計画を策定していくこととしています。

Q6 どこまで自己資本の増強をしなければならないのか。どういう状況であれば農家に還元できるようになるのか？

A6 固定比率は現在83%ですが、これを100%にするためには、まだ5億9千万円自己資本が足りません。組合員の皆さんから増資して頂いているにもかかわらず、高齢で脱退する組合員も多く、増資と脱退による減少が変わらないという状況で、剰余金は内部留保しなければなりません。100%達成できたならば、利用高配当や手数料の引き下げなど、組合員さんへの還元もできると考えています。

Q7 営農指導員の数が足りないと思うが、対策を講じているのか？

A7 営農指導員の資格取得を進め、取得後は現場での経験を積ませるよう努めています。

Q8 直売所については競合相手も多い場所で、採算がとれるのかという厳しい意見もあった。J Aとしても努力した結果だと思うが、実績が良かったのはどういう理由からか？

A8 我々の予想以上に組合員の皆さまが出荷をして頂いたこと、我々が把握していなかった色々な作物があり、こういったものが出荷されたことや、地元産が高く評価されたものと考えています。

日 時	開催地区	総代数	内出席者数
5月15日(火) 午後7時~	福江・奥浦地区	30	20
5月16日(水) 午前9時30分~	新魚目・北魚目地区	36	17
5月16日(水) 午後1時30分~	若松地区	30	15
5月16日(水) 午後7時~	大津地区	23	14
5月17日(木) 午前9時30分~	久賀地区	16	11
5月17日(木) 午後1時30分~	本山地区	50	22
5月17日(木) 午後7時~	山内地区	41	33
5月18日(金) 午前9時30分~	富江地区	46	22
5月18日(金) 午後7時~	崎山地区	33	20
5月21日(月) 午前9時30分~	玉之浦地区	21	15
5月21日(月) 午後1時30分~	岐宿地区	38	27
5月21日(月) 午後7時~	三井楽地区	34	25
5月22日(火) 午前9時30分~	青方・上郷地区	50	39
5月22日(火) 午後1時30分~	有川地区	51	40



児童の交通事故ゼロへ

- 交通安全対策資材目録贈呈式 -



才津教育長にボディバッグを
渡す中尾組合長

J Aごとうは五月七日、二〇二一年度の農村地域交通事故対策として五島市内の小中学校生徒へ反射材付きボディバッグの贈呈式を、J Aごとう本店で行いました。(新上五島町にも同様の寄贈を予定しています)

当J Aでは二〇〇九年度から組合員・地域住民が健康で安心して暮らせる豊かな環境づくりを目指す社会貢献活動の一環として、交通事故防止や交通事故被害者救済などに取り組んでいます。

昨年度は交通事故被害者の救済・救命を目的に購入金額の約三分の二を助成し、五島市に高規格救急自動車を寄贈。また上地区では管内の全小中学校二〇校に一台ずつ、四六型ブルーレイ内蔵テレビを寄贈しています。

中尾弘一組合長は、「自賠責共済掛金の一部を交通安全対策積立金として造成している。積立金は契約者に直接還元できないことから、それを財源に交通事故防止及び交通事故被害者救済など、社会貢献活動の一環として寄贈するものであり、有効活用して頂きたい」と話しました。

安定供給を目指して

- 秋冬ブロッコリー出荷反省会 -

J Aごとうは五月八日、二〇二一年度秋冬ブロッコリーの出荷反省会を開きました。市場関係者、生産者など約三〇名が出席し、実績報告や二〇二二年産春ブロッコリーの出荷状況について会議が行われました。



出荷反省会の様子

二〇二一年度産秋冬ブロッコリーの生産経過について担当職員は「作付面積は五、四〇〇[㍗](前年対比一〇七%)と伸びたものの、十一月に高温が続くなど異常気象の影響を受け、出荷量が計画対比の八六%となった。しかし、選果の徹底を行った結果、品質も安定し市場からのクレームもなく出荷ができた」と説明。

市場関係者からは「気候が安定せず、一気に出荷を行った時期もあり単価が低調だったが、氷詰め出荷が定着し、計画出荷出来ている。今後は収量の少ない時期のM球出荷を行い、年間通して出荷が平準化できるよう努めていただきたい」と話しました。

今後、当J Aではシーズンを通した安定した供給を行い、ブランド力を向上させ有利販売を行います。

笑顔溢れるふれあいの場

- 35周年を迎えた有川朝市 -



商品を受け渡す様子

J Aごとう有川支店では一九七七年から続く朝市が、今年で三十五周年の節目を迎えました。

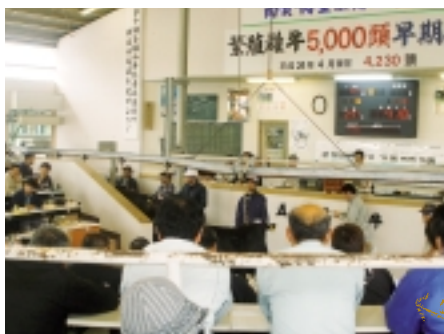
朝市では毎週月曜日の午前九時〜十時ごろまで新鮮な野菜や果物、花卉などを毎回約一五名の生産者が直接販売しています。

川原ハル子朝市部会長は「朝市は高齢の生産者の立場から見ると、大変大きな存在。直接消費者の方々と接する機会ができ、

生産者同士の情報交換の場にもなる。また、十時以降はすぐ隣のAコープ有川店の地場野菜コーナーに陳列することができるので無駄がなく助かる」と話しています。(日本農業新聞五月十五日掲載)



Aコープ有川店直売コーナー



二〇二二年五月せり市

子牛価格5.5%アップ

- 平成24年5月せり市 -

五月十三・十四日の両日、五島家畜市場で二〇二二年五月せり市を開催。今回のせりでは二〇七戸の畜産農家が子牛五一六頭、成牛三二頭計五四八頭の黒毛和種を上場しました。子牛五一六頭の平均取引価格は四二、〇七〇円(前回比五・五%高)、成牛三二頭の平均取引価格は一九〇、五〇九円(前回比一・二%安)となりました。

五島家畜保健衛生所の藤井猪一郎係長は、「今回のせり値は平均四二万円を維持しています。せり値に影響する出荷体重やDGを改善し、県内トップのせり値実現のため、今一度子牛の飼養衛生管理を」と話しています。(日本農業新聞五月十七日掲載)

3月せり市成績表

性別	売却(頭)	落札価格(円)	最高価格(円)	平均価格(円)	kg単価(円)	平均体重(kg)	前回比(%)
メス	243	88,263,000	715,050	381,383	1,417	269	111.6
去勢	273	118,993,000	598,500	456,396	1,612	283	101.9
合計	516	206,926,000	715,050	421,070	1,523	276	105.5



アスパラガス栽培の説明を聞く参加者

その後、大津町の馬場寄誠さんのアスパラガスの圃場にて同作物の栽培方法について学習しました。イベントを企画したJA担当者「上五島とは同じ管内でも日頃なかなか交流ができていなかった。今後こういうイベントを行って、管内の活性化に繋げたい」と話しました。

地元の特産品知ってるかな?

- 食農教育体験学習 -

当JAでは五月十九日、上五島地区の児童、保護者を対象に五島ルビーの収穫、アスパラガスの圃場見学を行いました。このイベントはJAバンクが支援する食農教育体験学習の一環として行われ、約二十五名が参加。特産の五島ルビーの収穫、アスパラガスの圃場見学を通じて地元の食材について理解を深めてもらうことが目的です。子どもたちはまず、五島市富江町にある(株)JAファームごとうのビニールハウスにて、担当者から説明を受けた後、思い思いに真っ赤なトマトを頬張って「果物みたいに甘い!」などの感想を述べました。



五島ルビーを収穫する児童



2012年産大麦「ニシノホシ」

前年を上回る収量

- 大麦「ニシノホシ」収穫 -

JAごとうでは同JAプライベイト・ブランド商品「麦焼酎 太陽と緑 五島がうまい」の原料でもある大麦「ニシノホシ」の収穫がピークを迎えました。二〇二二年産大麦の作付面積は四三四・五ha、出荷量は一、二六〇tを計画。昨年産と比較すると二〇haの面積拡大を図りました。

五島市三井楽町で大麦を栽培する出口一郎さんは「天候にも恵まれ、収量的には昨年を上回る予定」と話しています。



大麦「ニシノホシ」収穫(五島市三井楽町)



地域農業を振興

- 第29回ごとう農業協同組合青年部総会 -

J Aごとう青年部は四月二十七日、第二十九回通常総会を開きました。長崎県青年部協議会、長崎県五島振興局、同青年部など約七〇名が出席し、二〇一

二年度の活動計画などを採択。

総会に先立ち、中尾弘一組合長が「昨年は東日本大震災に対する募金活動など、様々な点で協力してもらった。地域的に人口減少が著しい中、それに歯止めをかける一次産業の活性化を担うのは青年部の皆さん」とあいさつ。

また総会では「TPPから日本の食と暮らし・いのちを守り交渉参加阻止実現に向けた国民運動の展開に関する特別決議」が満場一致で採択されました。

同青年部では、今後も農政運動への取り組みの強化、地域での食農教育活動の充実、組織の活性化による盟友の拡大などに力を入れていきます。

(日本農業新聞五月八日掲載)



J A 青年組織綱領を唱和する出席者



梅

梅の健康パワーで、夏バテ予防



ベトナムのお料理教室

一年中何でも買える時代ですが、梅の実が手に入るのは6月を中心としたわずか1カ月ほど。未熟な青梅から出回り始め、だんだん黄色く熟したものに変わっていきます。熟し加減によって作るものの用途が異なるので、熟度を見ながら目当てのタイミングを逃さないようにしましょう。梅酒、梅シロップ、甘露煮などには、青くて堅く、果肉がしっかりした梅が最適。傷がなく、ぶっくりと丸いものを選びましょう。梅干し用には、全体が黄色く熟したものが果肉も柔らかくお勧めです。少し手間はかかりますが、自分で作ったもののおいしさは格別です。ぜひこの季節ならではの梅仕事を楽しみましょう。

梅の実を生で食べることはないので、料理に使う梅

といえば、やっぱり梅干し。そのまま食べるのももちろん、たれやドレッシングなどに加えて風味付けにしたり、肉や魚料理の調味料として加えると、梅干しの酸味や香りでさっぱりと食べやすくなります。また、梅干しの酸味は食欲を誘い、唾液や胃酸の分泌も盛んになるので、食べたものの消化・吸収を促進。さらに梅干しに含まれるクエン酸には、体内でエネルギーをつくり出すと同時に疲労物質の分解を助ける働きもあるので、暑さに体力を奪われて食欲がなくなりがちな夏バテ予防にはピッタリの食材です。その他にも、おなかを壊したときに良い、二日酔いに効くなど、民間療法としても伝わるさまざまな効能があり、昔ながらの健康食品です。

RECIPE

豚ヒレ肉の梅肉蒸し

調理時間

15分

材料(4人分)

豚ヒレ肉(ブロック)400 g
塩・こしょう.....各少々
梅干し.....2個
シソの葉.....5枚
酒.....大さじ1
しょうゆ.....大さじ1/2

ネギ.....1本
かい割れダイコン...1/2パック



作り方

(1人分126kcal)

- (1) 肉は5～6mm厚さに切り、塩、こしょうを振ります。
- (2) 梅干しは、果肉を包丁でたたき、シソの葉はみじん切りにします。Aの材料を混ぜます。
- (3) ネギは、白い部分を5cm長さの千切りにし、水に放します。かい割れダイコンは、根元を落とし、半分に切ります。
- (4) 肉にAを塗りながら、皿に広げるように並べ、ラップをして電子レンジ(500W)で約5分加熱します。(3)を載せます。

撮影：吉田和行

ごとう農業協同組合 平成24年度 第1回理事会報告

平成24年5月9日(水)開催

1. 報告事項

- | | | | |
|------------------|---------------------------|-----------|------------------------------------|
| 報告 No. 1 | 主な事業経過と行事予定について | 報告 No. 8 | 平成23年度第4四半期の余裕金運用状況について |
| 報告 No. 2 | 主要事業3月末計画と実績について | 報告 No. 9 | 平成23年度第4四半期のコンプライアンス・プログラム実践報告について |
| 報告 No. 3 | 産直市場「五島がうまい」3月末実績について | 報告 No. 10 | 平成23年度末資産自己査定の結果について |
| 報告 No. 4 | 子会社の平成23年度実績と平成24年度計画について | 報告 No. 11 | 平成23年度第4四半期内部監査実施状況について |
| ① (株)JAごとう葬祭 | | 報告 No. 12 | 平成23年度内部監査年間業務活動報告について |
| ② (株)JAごとう食肉センター | | 報告 No. 13 | 平成24年度内部監査計画について |
| ③ (株)JAファームごとう | | 報告 No. 14 | 貸付金の実行について(2～3月分) |
| 報告 No. 5 | 平成24年3～4月期県内家畜市場市況について | その他 | |
| 報告 No. 6 | 地区別総代説明会の開催日程について | | |
| 報告 No. 7 | 平成23年度末組合員の加入・脱退の状況について | | |

2. 議案事項

- | | | | |
|----------|---|-----------|---|
| 議案 No. 1 | 平成24年度同一人並びに同一人自身に対する信用の供与等の最高限度額決定の件 [可決] | 議案 No. 9 | 第10回全国和牛能力共進会に係る出えん金額変更の件 [可決] |
| 議案 No. 2 | 平成24年度貸付金利率の最高限度決定の件 [可決] | 議案 No. 10 | 常例検査指摘事項改善状況について [可決] |
| 議案 No. 3 | 平成24年度借入金の最高限度決定の件 [可決] | 議案 No. 11 | 指定介護予防訪問介護事業所及び指定訪問介護事業所運営規程の一部変更(案)について [可決] |
| 議案 No. 4 | 平成24年度余裕金運用方針について [可決] | 議案 No. 12 | 個人情報取扱規程の一部変更(案)について [可決] |
| 議案 No. 5 | 平成24年度コンプライアンス・プログラム実践スケジュールについて [可決] | 議案 No. 13 | 家畜市場業務規程の一部変更(案)について [可決] |
| 議案 No. 6 | 第11回通常総代会提出議案について [可決] | 議案 No. 14 | 職制規程の一部変更(案)について [可決] |
| 議案 No. 7 | 決算書類(貸借対照表、損益計算書、剰余金処分案、注記表及び事業報告並びにこれらの附属明細書)及び部門別損益計算書承認の件について [可決] | 議案 No. 15 | 出資金の減口について [可決] |
| 議案 No. 8 | 平成24年度理事及び監事の報酬支給額決定の件 [可決] | 議案 No. 16 | 貸付金の審査について [可決] |
| | | 議案 No. 17 | リース資産(長崎県JA総合情報システム端末機等更新)の取得について [可決] |
| | | その他 | 平成24年度事業計画設定の件 [継続審議] |



産直市場

TOP NEWS

五島がうまい・直送便

おかげさまで年間売上 3 億6 500万円の実績（計画比111.2%）

産直市場「五島がうまい」1周年感謝祭

感謝祭オープニング



店内もたくさんのお客さんで賑わいました



ルビートマト詰め放題



真っ赤に熟したルビートマト



母親の出荷を手伝う子ども



手揉み茶作り



4月19日から5月27日まで、産直市場 五島がうまいでは、1周年感謝祭を実施。旬の野菜や果物、五島で育った安心・安全な畜産物など盛りだくさん！

他にもガラポン抽選会やビンゴゲームなどのイベントもあり、たくさんの人で賑わいました。

たべてみんね



福江支部 千代田武詞さん

現在、私は葉付き人参を出荷しております。葉の部分もおいしいということで好評をいただいております。

これを励みに今後も直売所への出荷を増やしていきたいと思っています。なお、今後の主な出荷品目はキャベツとほうれん草を予定しておりますので、ぜひお買い求めください。



富江支部 谷合千鶴子さん

私が出会った最初の直売所は、糸島の直売所でした。こんな所へ出荷できたら楽しいだろうなと思っていたとき「五島がうまい」ができることを聞き、迷わず入会しました。

あれこれ作ってみたいと思いながら、新品種の野菜や花に挑戦しています。地元の人たちにこのようなものをお届けするために頑張っていきますので、よろしくお願い致します。

五島の養豚を支える新しい力



佐藤 清吾さん(41) 五島市三井楽町



坂井 寛仁さん(36) 五島市岐宿町

約30年近い歴史を持つ「JAごとう養豚部会（以下、養豚会）」で、2名の若手生産者が後継者として活躍されています。今回はこれからの五島の養豚を支えるこちらのお二人をご紹介します。



同時期に養豚の世界に入ったお二人ですが、境遇は全く異なります。佐藤さんは元々五島の出身ではなく、結婚を機に就農し、現在に至っています。

一方の坂井さんは五島出身で、家業の後継ぎとして就農しました。

経営規模はほぼ同じですが、豚舎の構造などを見るとそれぞれのカラーがよく出ていることに気が付きます。また、両者とも衛生管理にとても力を入れており、取材の際臭いはほとんど気になりませんでした。

現在、養豚会では二十数年前から行っている「肉豚枝肉研修会」を月に一度のペースで実施。(株)JAごとう食肉センターを訪問し、出荷した豚の枝肉の状況を確認、肉質の向上を目的に視察を行っています。また、会議等も積極的に開き、担当者を交えて飼料の改善や衛生管理について意見を交換しています。

TPP 交渉参加による畜産業の大規模化推進などが予想され、難しい局面が続きますが、親世代が良きライバルであるように、それに習って今後も管内の養豚業を牽引して頂きたいと思います。

新任 LA 職員紹介

上五島支店

管理金融課 LA 統括

田中 郁夫



定年まであと2年を迎え、やりがいのあるLAの辞令を受けました。今までの経験を活かし、LAとしての使命を充分に果たせるよう、3Q訪問を通じて安心と満足をご提供できればと思っております。

上五島支店

管理金融課 LA 係長

小島みつる



4月の定期異動によりLAを担当することになりました。3週間の研修で学んだことを活かし、組合員の皆さまの立場に立った活動をしていきたいと思っております。

旅行センター からのお知らせ

お問い合わせは...

J A ごとう旅行センター **0959(72)6211**まで



補聴器 相談会実施中！

あなたの聴こえは大丈夫？

テレビやラジオの音量が大きいと言われる。
後ろから呼ばれると気づかないことがある。
会議中に聞き返す事がよくある。
騒がしい所で相手の声がよく聞き取れない。 など...

聴こえの状態やご予算にあわせて
各種補聴器をご用意しております。



ご自宅、又は各支店・出張所にて
無料聴力測定いたします。
2週間無料試聴も行なっております。
聴力測定時 機種選定 無料試聴
満足頂ければご購入。
満足頂けない場合はご返却いただきます。
お気軽にご相談ください。

思い当たる「ことある」という方は
今すぐご相談ください。

お問合せ：J A ごとう本店 経済部 0959-72-6585

今回の取材では上五島へ行く機会がありました。上五島といえば五島うどんの地獄炊き。稲庭、讃岐と並

編集後記

広報を担当し始めて約二ヶ月が過ぎました。一年前から五島に住んでいます、県外出身ということ、まだまだ取材先や日常生活の中で驚くことがたくさんあります。

私は料理が趣味なので、これからも取材や日常生活の中で五島のいろいろな食文化や食材に触れていきたいと思っています。

(紙漣 諒)



産直市場
五島がうまい。

住所：〒853-0041 五島市籠淵町2450-1

電話：0959-88-9933

FAX：0959-88-9922

営業時間：9時～19時

農家レストランは10時30分～15時(予約については別途)

土日・祝日限定バイキング 11時～15時

料金 大人：1,000円 子ども：500円(小学生以下)

定休日：毎月第1・第3月曜日(祝日の場合は営業、振替なし)

華儀のことなら誠意と真心で奉仕する



株式会社JAごとう 華祭
市場 **浄倫会館**

【本店】

〒853-0041 長崎県五島市籠淵町2450

TEL 0959(72)6211 FAX 0959(74)6266

【上五島支店】

〒857-4404 長崎県南松浦郡新上五島町青方郷355-7

TEL 0959(52)2417 FAX 0959(43)1955